

Tracers MSCIオール・カンントリー・インデックス (全世界株式)

つみたてNISA適格の当ファンドで
じっくりと着実に「**世界**」に投資
～「世界」という視点で投資を考える～

- ネット専用ノーロード・ファンドシリーズ「Tracers（トレーサース）」の5本目のファンドとして、2023年4月26日に設定された当ファンドは、世界の金融商品取引所に上場している株式を主要投資対象とし、「MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース*）」の動きに連動する投資成果をめざします。
- 本レポートでは、当ファンドのルールや指数の概要などについて、ご紹介いたします。

*公表指数をもとに日興アセットマネジメントが円換算します。

トレーサース
Tracers

とは…

「**こんな欲しかった**」というアイデアをファンドの設計に取り入れ、「インデックス（指数）」や「独自に定めたルール」などの**ルールに沿って運用（トレース）**する、**日興アセットマネジメントのファンドシリーズ**です。

オール・カンントリー株
全世界株式



先進国株式
(含む日本)

+

新興国株式

世界の株式に投資

当ファンドのルール

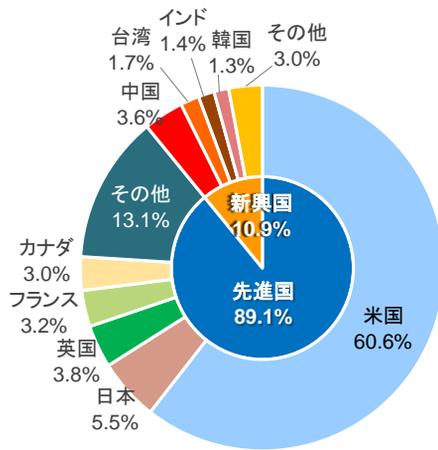
当ファンドでは、世界(先進国(含む日本)と新興国)の株式に投資を行ない、「MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)」の動きに連動する**投資成果**をめざします。

MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスの概要

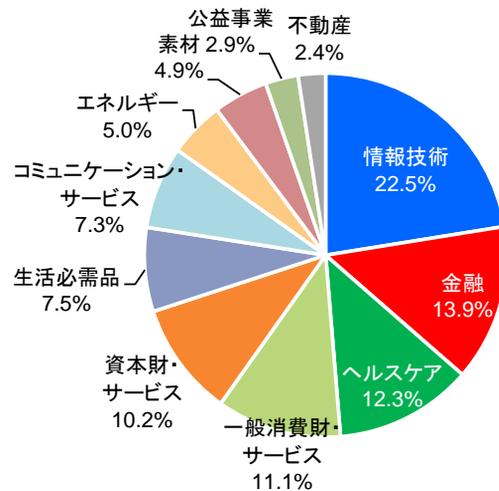
- 「MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス」とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、先進国（含む日本）23カ国および新興国24カ国の株式市場に上場する大型および中型の株式で構成されています。

インデックス名		MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス	
構成銘柄数		2,888 銘柄	
対象株式		大型株・中型株	
算出方法		時価総額加重平均型	
構成国	先進国 (23カ国)	欧州・中東	英国、フランス、ドイツ、スイス、スペイン、イタリア、オランダ、スウェーデン、フィンランド、ベルギー、デンマーク、ノルウェー、オーストリア、ポルトガル、アイルランド、イスラエル
		北米	米国、カナダ
		アジア・オセアニア	日本、香港、シンガポール、オーストラリア、ニュージーランド
	新興国 (24カ国)	欧州・中東・アフリカ	トルコ、ポーランド、ハンガリー、チェコ、ギリシャ、カタール、アラブ首長国連邦、サウジアラビア、クウェート、南アフリカ、エジプト
		北米・南米	メキシコ、ブラジル、チリ、コロンビア、ペルー
		アジア	中国、韓国、台湾、インド、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピン

< 国・地域別構成比率 >



< 業種別構成比率 >



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成
(2023年3月末現在)

なぜ

米国の割合が大きいのは？

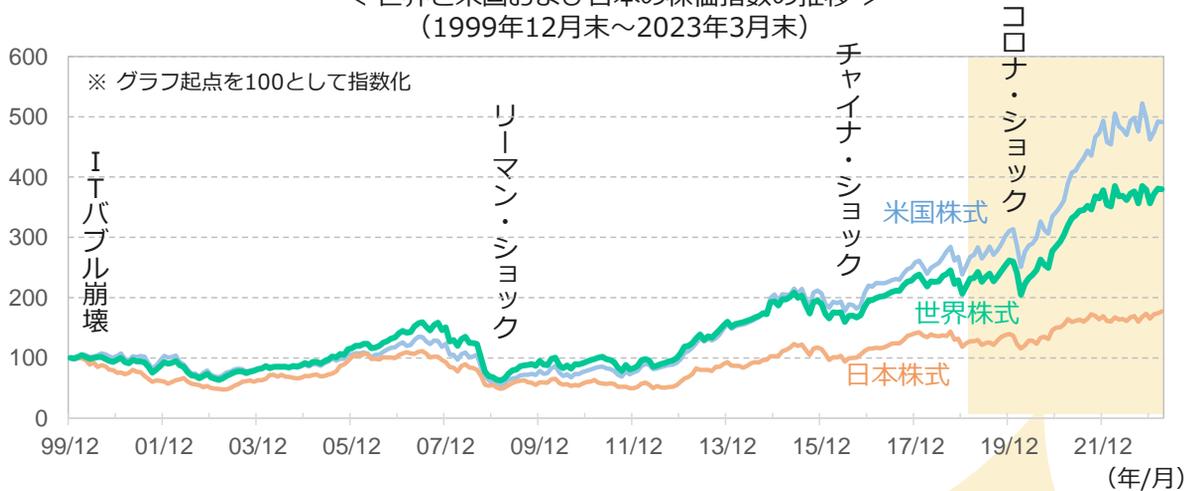
「MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス」は、時価総額加重平均で算出されるため、時価総額の大きい国や銘柄ほど構成比率が高くなります。世界の株式市場において米国企業の時価総額はとりわけ大きいことから、当指数の構成銘柄の上位も米国の大型株が占めています。

- ※業種別構成比率は、世界産業分類基準（GICS）のセクター分類で表示しています。
- ※四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

世界株式は中長期で大きく上昇

- 世界株式は、ショックと言われる数々の局面を経ながらも、その後反発を繰り返し、中長期で見ると上昇しています。2000年以降を振り返ると、米国株式がけん引してきましたが、足元の状況を半年間ごとの騰落率で見ると、世界的な金利上昇や米国の銀行破綻などを受け、順位が入れ替わっていることが分かります。
- 特定の国や地域に集中投資するのではなく、世界を網羅した世界株式に投資をすることで、地域分散を図りながら世界経済の成長を享受することが期待できます。

＜ 世界と米国および日本の株価指数の推移 ＞
(1999年12月末～2023年3月末)



＜ 直近5年間騰落率 ＞
(2018年6月末～2023年3月末*)

* 半年間の騰落率。ただし、23年3月は、2022年12月末～2023年3月末の騰落率

18年6月	18年12月	19年6月	19年12月	20年6月	20年12月	21年6月	21年12月	22年6月	22年12月	23年3月
		米国株式 15.0%	米国株式 13.4%		世界株式 19.7%	米国株式 23.7%	米国株式 16.7%			日本株式 7.2%
		世界株式 13.7%	日本株式 12.3%		米国株式 17.9%	世界株式 20.9%	世界株式 9.8%			世界株式 6.5%
		日本株式 5.2%	世界株式 11.6%		日本株式 16.9%	日本株式 8.9%	日本株式 3.5%		日本株式 2.4%	米国株式 6.2%
米国株式 -0.5%	米国株式 -7.4%			米国株式 -6.7%				世界株式 -4.3%	世界株式 -1.5%	
世界株式 -3.3%	世界株式 -9.1%			日本株式 -8.2%				日本株式 -4.8%	米国株式 -1.5%	
日本株式 -3.7%	日本株式 -12.8%			世界株式 -9.0%				米国株式 -4.8%		

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記で使用した株価指数は以下のとおりです。

世界株式：MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）

米国株式：S&P500指数（配当込み、円換算ベース）、日本株式：TOPIX（東証株価指数、配当込み）

※上記、世界株式と米国株式は、公表指数をもとに一般的な基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の米ドルベースの指数値に当日の為替を用いて日興アセットマネジメントが円換算したものです。

※各指数はあくまで参考情報であり、当ファンドの運用実績ではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

不確実な時代には資産を分散



- 一般的に株式と債券の値動きは、景気の良し悪しに対して逆に動くと言われています。
- 足元では、高インフレや欧米の金融不安などを受け、不透明な状況が続いています。資産運用においては、一つの資産だけに投資するのではなく、複数の資産に分散して投資を行なうことで、不測の事態が起きた時に、ポートフォリオ全体の下落幅を抑えられる場合があります。

< (ご参考) 株式や債券と景気動向の関係性 >

	株式	債券
景気が良くなると・・・	企業業績は改善する傾向 価格 は上がる傾向 ↑	金利は上がる傾向 価格 は下がる傾向 ↓
景気が悪くなると・・・	企業業績は悪化する傾向 価格 は下がる傾向 ↓	金利は下がる傾向 価格 は上がる傾向 ↑

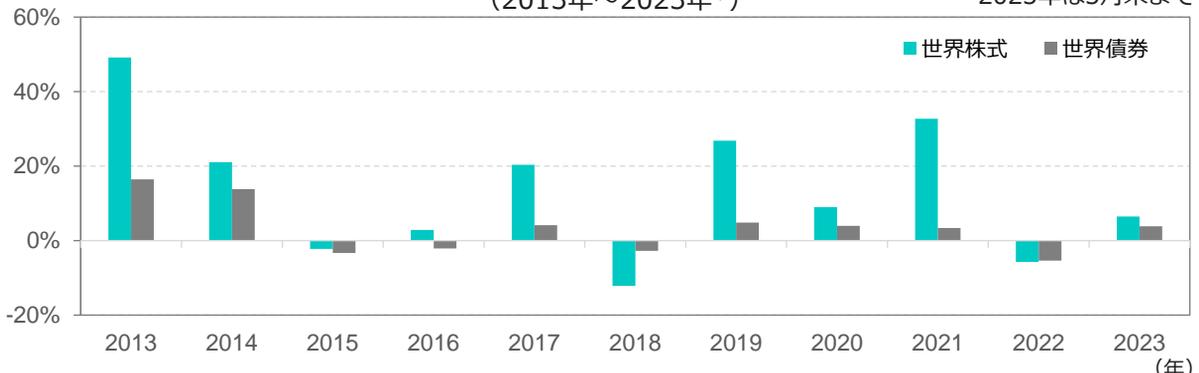
* 上記は一般論です。また、為替変動の影響を加味すると上記の通りとならない場合があります。

< (ご参考) 世界株式と世界債券の推移 >
(2012年12月末～2023年3月末)



< (ご参考) 年間騰落率の推移 >
(2013年～2023年*)

* 2023年は3月末まで



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記で使用した各指数は以下のとおりです。

世界株式：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）

世界債券：FTSE世界国債インデックス（円換算ベース）

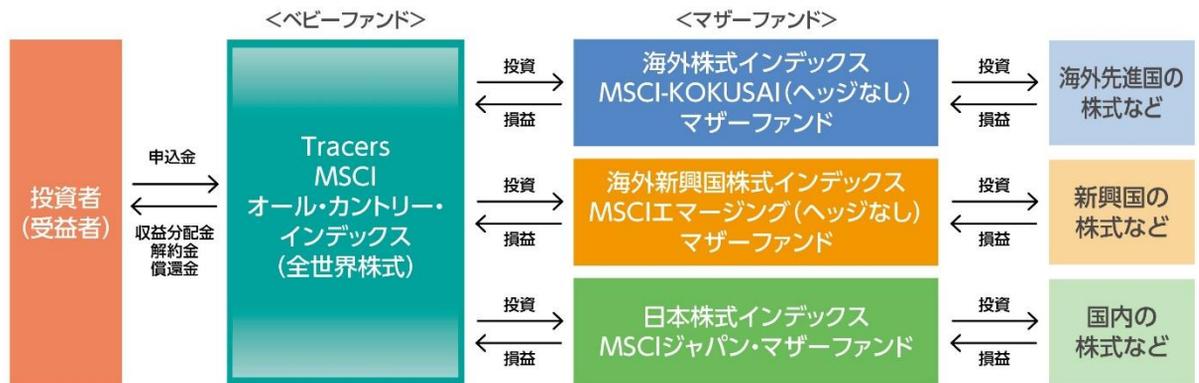
※ 各指数は、公表指数をもとに日興アセットマネジメントが円換算したものです。

※ 各指数はあくまで参考情報であり、当ファンドの運用実績ではありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの仕組み

- 当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行ないます。



※各マザーファンドは、株価指数先物取引などを活用することがあります。
 ※外貨建資産への投資にあたっては、原則として、為替ヘッジは行ないません。

【ご参考】当ファンドのマザーファンドについて

当ファンドのマザーファンドのうち、海外先進国と新興国の株式へそれぞれ投資するマザーファンドについては既に設定されており、実績のあるファンドです。

海外株式インデックス
MSCI-KOKUSAI (ヘッジなし)
マザーファンド

- 設定日：2000年5月17日
- 純資産総額：2,683億円
(2023年3月31日現在)

海外新興国株式インデックス
MSCIEマージング (ヘッジなし)
マザーファンド

- 設定日：2006年5月17日
- 純資産総額：993億円
(2023年3月31日現在)

日本株式インデックス
MSCIジャパン・マザーファンド

- 設定日：2023年4月26日
※新規設定のマザーファンドです。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの特色

1 海外先進国株式、新興国株式および日本株式を投資対象とする各マザーファンドに投資を行なうことで、実質的に全世界の株式に投資します。

2 「MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース*）」の動きに連動する投資成果をめざします。

* 公表指数をもとに日興アセットマネジメントが円換算します。

3 購入時手数料はかかりません。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

「MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス」の著作権などについて

本ファンドは、MSCI Inc.（「MSCI」）、その関連会社、情報提供者その他MSCI指数の編集、計算または作成に関与または関係した第三者（以下、総称して「MSCI関係者」という。）によって支持、保証、販売または販売促進されるものではない。MSCI指数は、MSCIの独占的財産とする。MSCIおよびMSCI指数の名称は、MSCIまたはその関連会社のサービスマークであり、日興アセットマネジメント株式会社による特定の目的のために使用が許諾されている。MSCI関係者は、本ファンドの発行会社もしくは所有者、またはその他の者もしくは組織に対して、ファンド全般もしくは本ファンド自体に対する投資適合性、または対応する株式市場の利回りを追跡するMSCI指数の能力につき、明示的か黙示的かを問わず何ら表明または保証するものではない。MSCIまたはその関連会社は、特定の商標、サービスマークおよび商号、ならびに、本ファンドまたは本ファンドの発行会社、所有者その他の者もしくは組織とは関係なくMSCIが決定、編集し計算したMSCI指数のライセンサーである。いずれのMSCI関係者も、MSCI指数の決定、編集または計算にあたり、本ファンドの発行会社もしくは所有者、またはその他の者もしくは組織の要望を考慮する義務を負わない。いずれのMSCI関係者も、本ファンドの発行時期、発行価格もしくは発行数量の決定、または、本ファンドを現金に換算する方式もしくは本ファンドの換算対価の決定もしくは計算について責任を負うものではなく、また、関与もしていない。また、いずれのMSCI関係者も、本ファンドの発行会社もしくは所有者、またはその他の者もしくは組織に対して、本ファンドの管理、マーケティングまたは募集に関するいかなる義務または責任も負わない。

MSCIは、自らが信頼できると考える情報源からMSCI指数の計算に算入または使用するための情報を入手するが、いずれのMSCI関係者も、MSCI指数またはそれに含まれるデータの独創性、正確性および/または完全性について保証するものではない。いずれのMSCI関係者も、明示的か黙示的かを問わず、本ファンドの発行会社もしくは所有者、またはその他の者もしくは組織が、MSCI指数またはそれに含まれるデータを使用することにより得られる結果について保証を行なわない。いずれのMSCI関係者も、MSCI指数またはそれに含まれるデータの、またはそれに関連する誤り、欠落または中断について責任を負わない。また、MSCI指数およびそれに含まれるデータの各々に関し、いずれのMSCI関係者も明示的または黙示的な保証を行なうものではなく、かつMSCI関係者は、それらに関する市場性または特定目的適合性に係る一切の保証を明示的に否認する。上記事項を制限することなく、直接的損害、間接的損害、特別損害、懲罰的損害、結果的損害その他あらゆる損害（逸失利益を含む。）につき、仮にその可能性について通知されていた場合であろうとも、MSCI関係者は、かかる損害について責任を負わない。

本有価証券、本商品もしくは本ファンドの購入者、販売者もしくは所有者、またはその他いかなる者もしくは組織も、MSCIの承認が必要か否かの確認を事前にMSCIに求めることなく、本有価証券を支持、保証、販売または販売促進するためにMSCIの商号、商標またはサービスマークを使用したり、それらに言及したりしてはならない。いかなる者または組織も、MSCIの書面による承認を事前に得ることなくMSCIとの関係を主張してはならない。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様は帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「Tracers MSCIオール・カントリー・インデックス（全世界株式）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様は帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認くださいの上、お客様ご自身で判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式／インデックス型
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2023年4月26日設定）
決算日	毎年5月16日（休業日の場合は翌営業日） ※初回決算は2024年5月16日とします。
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	ありません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.05775%(税抜0.0525%)
その他の 費用・手数料	<p>目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。</p> <p>組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.55(税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。</p> <p>※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。</p>

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	<p>日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会</p>
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	<p>販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)</p>

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○

(資料作成日現在)